

2012年2月6日

グローバル経営体制の強化に関するお知らせ

アステラス製薬株式会社（本社：東京、社長：畑中 好彦、以下「アステラス製薬」）は、2012年4月1日付でトップマネジメント体制を含むグローバルな経営体制を改訂しますので、お知らせします。改訂の概要は以下の通り。

【トップマネジメント体制】

社長直属の財務担当役員および経営戦略担当役員の新設

（目的）

権限の委譲及び経営判断迅速化

（運用）

	英文タイトル	担当部門
社長	Chief Executive Officer (CEO)	監査部、 <u>GMA</u> *1（新設）、研究本部、 <u>APGD</u> *2、信頼性保証本部、技術本部、営業本部、アジア事業本部、 <u>APEL</u> *3、 <u>APUS</u> *4、 <u>AGS</u> *5
副社長	Chief Administrative Officer & Chief Compliance Officer (CAO&CCO)	渉外部、総務部、人事部、法務・コンプライアンス部（法務部から名称変更）、秘書室
財務担当役員（新設）	Chief Financial Officer (CFO)	経営推進部、経理部、広報部、調達部、コーポレート IT 部
経営戦略担当役員（新設）	Chief Strategy Officer (CSTO)	経営企画部、製品戦略部、ライセンシング&アライアンス部、知的財産部、ワクチン事業推進室（新設）

*1: Global Medical Affairs *2: Astellas Pharma Global Development, Inc.

*3: Astellas Pharma Europe Ltd. *4: Astellas Pharma US, Inc. *5: Agensys, Inc.

【グローバル経営体制】

グローバル人事会議の新設

（目的）

グローバル化の進展に対応し、各機能・地域をまたいだ主要ポジションの人事案件を審議する体制をとる。従来の人事会議は発展的に解消。

(運用)

		グローバル人事会議 (新設)	グローバル経営会議	財務経営管理会議
審議案件		役員、経営幹部の選 任・解任・昇格・降 格・育成等	機能、地域間をまた がるグローバルな 重要案件等	主に国内の財務 経理、経営管理案 件
会議構成員	現職者*6			
社長	畑中 好彦	○議長	○議長	
副社長	御代川 善朗	○	○	○議長
財務担当役員	梶田 恭正	○	○	○
経営戦略担当役員	安川 健司	○	○	○
研究本部長	塚本 紳一		○	
APGD President	Steven Ryder		○	
信頼性保証本部長	浅野 雅晴		○	
技術本部長	松田 充功		○	
営業本部長	佐藤 之彦		○	
アジア事業本部長	片柳 眞一郎		○	
APEL CEO	Ken Jones		○	
AUS*7/APUS CEO	吉田 昌生		○	
経営企画部長	武田 睦史			○
経営推進部長	野川 洋			○
人事部長	中島 与志明			○
法務・コンプライ アンス部長	沖村 一徳			○
事務局		人事部 (日米欧)	経営企画部 製品戦略部	経営企画部

*6: 2012年4月1日付

*7: Astellas US LLC

グローバル・コンプライアンス体制の強化

(目的)

より一層のグローバルでのコンプライアンス強化と地域間の連携推進

(運用)

・新設ポジション:

Chief Compliance Officer (“CCO”); 及び 三極*の Regional Compliance Officer (“RCO”)

・新設委員会組織:

グローバル・コンプライアンス委員会 (委員長: CCO); 及び

三極*のコンプライアンス委員会 (委員長: 当該極の RCO)

*日本・アジア・オセアニア、米州 (北米・中米・南米)、EMEA (ヨーロッパ・中近東・アフリカ)

	グローバル・コンプライアンス委員会 (新設)	CSR 委員会	IR 委員会	リスク管理委員会
審議案件	グローバル・コンプライアンス方針の策定と推進、対応	CSR 活動方針策定と評価	対外開示方針の策定等	リスク管理方針の策定、対応策の検討
委員長	副社長 (CCO)	副会長	財務担当役員	副社長
委員	RCO (日本・アジア・オセアニア) RCO (米州) RCO (EMEA)	副社長 担当役員 2 名 機能長 4 名 地域長 2 名 部長 4 名	副社長 経営戦略担当役員 部長 7 名	部長 16 名

Global Medical Affairs 組織並びに Global Marketing Strategy 組織の新設

(目的)

開発段階から医学・科学的観点から、重点領域毎にトータルなライフサイクルプランをグローバルで策定し、疾患領域毎のグローバル製品価値を最大化する。

(運用)

Global Medical Affairs 組織(“GMA”)並びに Global Marketing Strategy 組織(“GMS”)を新設。所在地は両組織とも米国イリノイ州ディアフィールド。APGD・GMA・GMS が同一拠点に存在することで、疾患領域毎の戦略策定のスピード・効率性の向上というシナジーを見込む。

GMA 概要

・業務：

- ◆ 重点領域である泌尿器、がん、移植・免疫/感染症の医学・科学的評価を、各極にまたがって所在する開発段階以降の各機能と有機的に連携し推進

・機能長：Charlotte M. E. Kremer, MD (2012 年 1 月 9 日より着任)

GMS 概要

・業務：

- ◆ グローバル製品の上市戦略（上市前のブランド確立のための戦略、疾患戦略、上市のプランニング等）、並びに上市後のライフサイクルプランの策定
- ◆ 重点領域である、泌尿器、がん、移植・免疫/感染症に Therapeutic Area Head（領域長）を置き、APGD・GMA との連携を推進

・機能長：製品戦略部長

以上

お問い合わせ先
アステラス製薬株式会社 広報部 TEL:03-3244-3201 FAX:03-5201-7473